

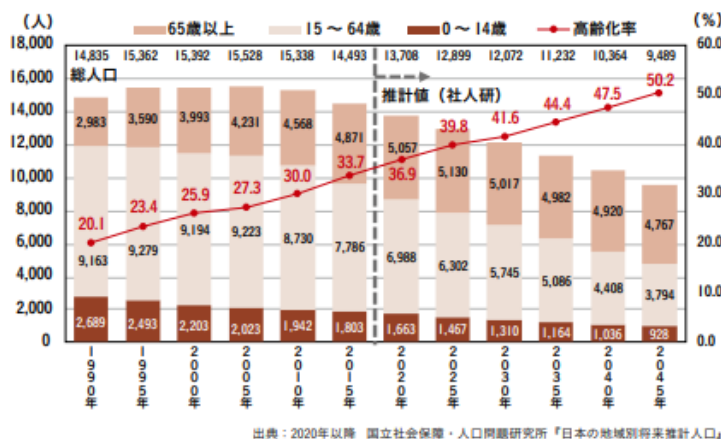
ふじみまち後継者創造の会（第2期） 次世代産業30改革期塾生募集

人口減少 さあどうする？ ～ピンチはチャンスの裏返しである～

2023年2月28日、厚生労働省は出生数が外国人を含む速報値で前年比5.1%減の79万9728人だったと発表しました。80万人割れは1899年以降で初めてであります。当初の国の推計値より11年早く80万人を割り込んでいます。新型コロナウイルスの感染拡大で結婚や妊娠・出産をためらう人が増えたのが原因のようであります。出生数の低下と同時に人口減少は日本全体の社会問題であります。

次に富士見町を見てみましょう。

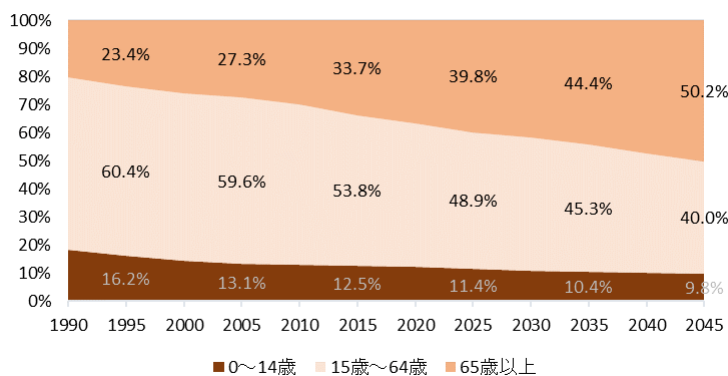
(グラフ1) 今後27年間の富士見町の人口推移見込み



次に富士見町を見てみましょう。

グラフ1は富士見町の1990年からの人口の推移と2045年までの推計値であります。2006年の15,568人をピークに人口減少が続いています。直近の2020年の人口は13,845人となっています。また、2007年からの7年間の平均減少率は-0.52%でありましたが、2014年からの7年間は-1.14%の平均減少率であります。ここ数年の減少が著しいです。逆に65歳以上の高齢化率は右肩上がりであり、1990年には20.1%であったが2010年には30%を超えており2030年には40%を超える勢いがあります。グラフ2は年齢別の割合を1990年から示したものであります。15歳以上から64歳の生産年齢人口比率は1990年には60%を超えていましたが30年後の2020年には50%を切ろうとしています。現在から約20年

(グラフ2) 年齢別割合の推移

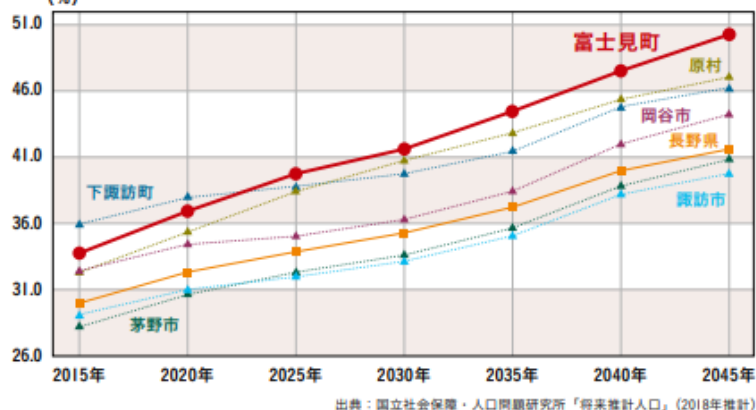


後の2045年には40%を切る勢いでありませぬ。

1990年はいわゆる現役世代60人で18人の子どもと22人の高齢者を支えていましたが、2020年では現役世代50人で子ども12人と38人の高齢者を支え、さらに2045年には現役世代40人で子ども10人と高齢者50人を支えなければなりません。15歳以上を生産年齢人口に入れて良いのかという問題もありますが、仮に22歳の大学生までを年少人口に入れてしまえば支える側はさらに厳しくなります。

グラフ3は諏訪地域6市町村の高齢化率の比較であります。2020年では下諏訪町について2番目でありましたが、2025年には1番となり2030年には40%を超える予定であります。2045年には6市町村の中でも飛びぬけて高い高齢化率になることが予想されます。

(グラフ3) 4 高齢化率の他市町村比較



現在は、ロシアのウクライナ侵攻や円安等で原材料や光熱費等の高騰により景気に陰りが見え始めていますが、それでも業界によっては『人手不足』の状態が続いています。

今後は『「働く人」そのものが少なくなる』、特に『若い世代の働き手が少ない時代』に突入します。

人が居なければ「機械化」・「ICT化」あるいは「DX化」などに組み込み一人当たりの生産性を高めることを

当然ながら考えます。しかし、これは一時的には効果があると思いますが、根本的な解決にはなっていません。企業の存続に人は欠かせません。人は企業の財産であります。

人口減少は避けて通れない道であります。移住者などの社会的な増加で一時的に増えることはあっても、人口減少の大きな流れを止めることはできません。しかし、人口減少は『ピンチ』と捉えるか、『チャンス』と捉えるかそれは経営者の考え次第であります。

また、活動期間は2031年3月(2030年度末)までとしました。タイトルの「30」は2030年のことです。経営者の皆さんは自社について2030年にどのようなビジョンを描いていますか？またはどのようになりたいと考えていますか？この問題についてはそう簡単に解を導き出せないと思います。皆さんと議論をしながらゆっくりとしかし着実に進めていきたいと思ひます。

本事業については富士見町も皆さんと一緒に考えていくつもりでございます。次世代の若手経営者の皆さん、是非一緒にこの時代にあった産業界を構築していきましょう。

2023年3月1日

ふじみまち産業振興センター
センター長 細川 久
富士見町産業課
課長 植松 聖久

募 集 要 領

目 的

これからの人口減少時代を見据えた上で、時代にあったビジネスモデルの方向性を構築する。

対 象 者

- (1) 富士見町内事業所の後継者または後継予定者
 - (2) 富士見町内事業所の経営者
 - (3) 富士見町内事業所に従事する従業員
- ※ いずれも年齢は問いません
 - ※ 富士見町商工会員・非会員は問いません
 - ※ 法人・個人事業主も問いません
 - ※ (1)・(3)に該当する方は、社長の了解を得ていること

対象業種 製造業・建設業・商業（飲食業・サービス業・宿泊業・観光業含む）など

活動期間 2023年4月から2031年3月まで（8年間）

募集人数 20名

参加費 無料

活動場所 富士見町商工会館・事業所など

当面の進め方

基本的には参加者の意見交換により事業内容を決めていきます。しかし、どこから手を付けて良いか分からないことも事実です。当面は先進事例の企業視察や国や県の人口減少社会の考え方などについて随時担当者をお呼びして議論していきたいと思えます。

スケジュール（予定）

	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
募集	○							
キックオフ		○						
定例ミーティング			○		○		○	
先進企業視察				○				
事業承継フォーラム						○		
事業価値セミナー								○

申込方法

- (1) 申込書に記入の上、ふじみまち産業振興センターまでお送りください。申込書はふじみまち産業振興センターweb サイトにもアップロードしてございます。
- (2) ふじみまち産業振興センターweb サイトからも直接申し込みができますので、こちらもご利用ください。<https://fujimi-sangyo.center/>

募集〆切 2023年**3月31日(金)**

その他

- (1) スケジュールはあくまでも予定です。皆様の意見により変更する場合があります。
- (2) 懇親会等を開催する場合は会費をいただく場合があります。
- (3) 現経営者の皆様におかれましては、自社に後継者がいる場合は積極的に参加を促すよう背中を押してください。

問い合わせ

ふじみまち産業振興センター 原 博史

☎ 0266-78-9320 📠 0266-62-5644

e-mail fujimi-industrycenter@fujimi-ts.org

主催 ふじみまち産業振興センター・富士見町

後援 富士見町商工会